

東京医科大学八王子医療センター

リハビリテーション部

【診療科目】

脳神経内科／脳神経外科／整形外科／形成外科／心臓血管外科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科／腎臓内科／消化器外科・移植外科 等 計 32 科

【病床数】

許可病床数 610 床(一般病床 602 床, 感染症病床 8 床)

【リハビリテーション部 スタッフ構成】

理学療法士 9 名／作業療法士 6 名／言語聴覚士 4 名／助手 4 名

【施設基準】

脳血管疾患リハビリテーション(I)・運動器リハビリテーション(I)
呼吸器リハビリテーション(I)・心大血管疾患リハビリテーション(I)・がん患者リハビリテーション

【リハビリテーション処方割合】

令和 4 年 2518 例

脳血管疾患等 40.8%・運動器 17.5%・呼吸器 15.5%・心大血管 21.6%・がん 4.4%・その他疾患 0.2%

【リハビリテーション部の特徴】

- ・整形外科・脳神経外科の回診に同行。
- ・病棟カンファレンスを定期的実施。
- ・耳鼻咽喉科の嚥下回診に ST が同行。
- ・栄養サポートチーム (NST) 委員会・NST 回診チームに ST が参加(患者会「やまゆりサロン」のサポート)。
- ・緩和ケアチームの回診・耳鼻科頭頸部外科カンファレンス・キャンサーボードへ参加。
- ・喉頭摘出手術を受ける患者様と御家族に、代替発声手段を紹介(「オオルリの会」各月 1 回オンライン開催)。
- ・リハビリテーション部内での定期勉強会・症例検討会開催。
- ・早期離床・リハビリテーション加算の算定:集中治療室,救命救急病棟でのカンファレンスに参加し,他職種で連携して早期の離床や ADL 向上に努めている。

【理学療法】

整形外科疾患では人工関節,脊椎疾患,骨折等に対し術前より訓練を施行しています。脳血管疾患では,入院翌日～3 日程で訓練を開始します。また,パーキンソン病等の慢性疾患,難病の患者様のリハビリテーションも施行しています。呼吸リハビリテーションは人工呼吸器管理中から訓練を開始。慢性閉塞性肺疾患(COPD)に対し教育入院パスを作成し他職種と情報共有しています。

【作業療法】

中枢神経疾患・整形疾患を中心に,上肢機能訓練・ADL 訓練・高次脳機能訓練などを急性期より行っています。外傷も多く,骨折・腱損傷・神経損傷などの手の外科疾患,機能再建後のハンドセラピーや,がんの周術期・ターミナル期においてもがんリハビリテーションを実施しています。

【言語聴覚療法】

中枢神経疾患などの急性期リハビリテーションに加え,当院では頭頸部癌の手術も実施しているため,構音・嚥下・電気喉頭の訓練も多く行っています。また,嚥下造影検査(VF; Videofluorography)に積極的に参加し,嚥下機能を評価・解析することで,得られた情報を治療に活かしています。外来では,言語発達遅滞や構音障害のお子さんの訓練も行っています。

